

部門長からのご挨拶

2021 年度 電子・情報・システム部門長 森 一之（三菱電機株式会社）



電子・情報・システム部門(C 部門)は、1991 年に正式に部門として認定され、昨年 30 周年を迎えました。2021 年 C 部門大会(射水大会)は、富山県立大学と北陸支部の共催で第 30 回記念大会として開催します。オンライン形式での大会は初めてとなりますが、オンラインならではの企画もありますのでみなさまのご参加をお待ちしております。

C 部門は、研究会、部門大会、論文誌の 3 つの研究発表の場を活動の柱と位置づけ、その充実に向けて活動しています。

現在、C 部門は 12 の技術委員会(電子材料、電子デバイス、光・量子デバイス、電子回路、通信、医用・生体工学、知覚情報、情報処理、情報システム、システム、制御、分野横断型新システム創成)を擁しており(http://www.iee.jp/eiss/wp-content/uploads/eiss/misc/TC_pamphlet.pdf)、その傘下に専門領域を重点的に研究調査する 45 の委員会(調査専門委員会、協同研究委員会)を設置しています(<https://www.iee.jp/comite/c/>)。これらの委員会の中には委員を公募中の委員会もありますので(<https://www.iee.jp/comite/offering/>)、委員として研究調査活動に参加して研究ネットワークを拡大してください。また、技術委員会主催の研究会では、同じ専門分野の仲間が集い、研究発表を通じて議論を深めています(https://www.iee.jp/tech_mtg/host/)。昨年はオンライン形式での開催がほとんどでしたが、今後はハイブリッド形式での開催が増える予定です。研究会への参加に空間的な制約がなくなりますので、研究発表、情報収集の場としてご活用ください。

一方、部門大会は、研究成果を発表、議論する場としてだけでなく、幅広い分野の仲間との研究交流を通じて、異なる分野の最新の情報を収集、触発されることにより新たな研究分野や応用分野を拓く場にもなります。ここ数年は、学生や若手の参加者向けに国際会議での実践的なプレゼンテーション方法や英文での論文の書き方を解説する英語セミナーや、企業に勤める若手技術者・研究者との交流を通じて社会人としての体験を伝える場として学生セミナーを開催してきました。今後はこれらに加え、企業の方が学会に参加するメリットを実感できるように専門家が最新の技術トレンドを分かりやすく解説するセミナーなど、実務で役立つ場の充実を図ります。

論文誌は、これらの場を通してまとめられた研究成果を論文として公表する場です。研究成果を論文として早く論文誌に掲載できるように、論文委員会と編修委員会は拡大論文委員会を通して部門の査読方針を共有し、査読コメントが論文投稿者にとって有益な情報となるように、査読期間を短縮するように査読プロセスを継続して改善しています。また、編修委員会と技術委員会が協力して、毎月、論文誌の特集号を企画しています。是非、特集号への論文の投稿をご検討ください(<https://www.iee.jp/eiss/journal/special>)。

最後に、C 部門では毎年、論文誌に掲載された優れた論文を「優秀論文賞」、「論文奨励賞」として表彰しています。また、若手の方の優れた研究発表に対して、部門大会では「優秀論文発表賞」、「奨励賞」、「優秀ポスター賞」、「英語セッション Outstanding Student Presentation Award」、研究会では「優秀論文発表賞」、「研究会奨励賞」、「技術委員会奨励賞」として表彰しています(<https://www.iee.jp/eiss/award/winner>)。C 部門の活動に参加してよかったと実感できる運営を継続しますので、みなさまの周辺の方に C 部門の魅力を紹介していただき、仲間づくりにご協力をお願い申し上げます。